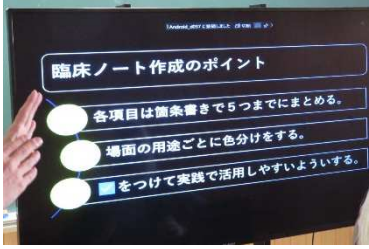
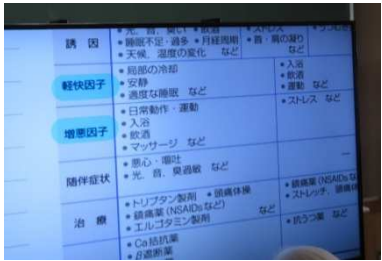


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

必要な情報を自分で整理するための ICT 活用 「アプリ『Good Notes』を活用したノート作成」

| | | |
|-------------------------------|--|---|
| 子どもについて | 所属・学年 | 特別支援学校・高等部 3年 |
| | 障がい名等 | 視覚障がい |
| | 子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等) | ・ 見え方に課題があり、文字や形をとらえたり、板書を視写したりする際に間違える場合がある。 |
| 授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面) | 教科名等 | 臨床保健理療 |
| | 単元(題材)名 | 単元名「症状・疾患に対する保健理療施術(頭痛)」 |
| 教材・教具支援機器について | 単元(題材)の概要 | ・ 診察に基づいて、あん摩・マッサージ・指圧施術の適否を判断し、施術を適切に行う能力と態度を育てる。 |
| | 教材・教具 支援機器 | <p>アプリ『Good Notes』を活用したノート作成</p>   |
| | ねらい・工夫点 | <p>〈ねらい〉</p> <p>○ 必要な情報を自分で整理することができるようにする。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書をスキャンしたデータ、Web上の参考資料などを検索しながら、自分にとってわかりやすいまとめ方を考えるようにした。 手書きやタイプ入力、画像へのレタッチができるアプリ「Good Notes」を使用した。 |
| 材料・作成方法等 | タブレット端末、アプリ「Good Notes」 | |
| 子どもの変容や評価 | <ul style="list-style-type: none"> これまで学んだ情報を自分で検索し、必要な情報を取り上げてまとめることができた。 実際に自分が使用する場面を想起しながら改善を図ることができた。 | |

(令和3年度)